

「深浦マグロステーキ丼」 デビュー10周年



10年間マグステ丼を提供した料理人と深浦マグロ料理推進協議会関係者



記念の盾を手にした料理人



終身名誉顧問委嘱状を受け取るヒロ中田さん

新・OMOTENASHIご当地グルメ「深浦マグロステーキ丼」(マグステ丼)が、6月14日でデビューから10周年を迎えたことを記念し、デビュー10周年アワードが町民文化ホールで行われました。

アワードでは、マグステ丼の生みの親であるヒロ中田さん(リクルートじやらんリサーチセンター客員研究員)やマグステ丼を提供している各店舗の料理人の

方々が出席し、マグステ丼のデビューから今までの歩みを当時の写真など見ながら振り返りました。

また、10年間マグステ丼を提供し続けた提供店舗が表彰され、深浦マグロ料理推進協議会の西崎朋会長から記念の盾が贈られました。

マグステ丼は10年間で275、964食を販売し、いまや深浦町を代表する観光コンテンツの一つとなっています。



みんなで作ろう 明るい町



園児たちのお遊戯が披露されました



吉田圭希さん(深浦小6年)



青森県警察音楽隊の演奏

交通事故や犯罪、非行のない明るい地域社会にしよう
と交通安全・青少年非行防止・社会を明るくする運動町
民総決起大会が6月29日に各地区や団体、事業所から約
230人が参加し、町民文化ホールで行われました。

大会に先立ち、青い鳥保育園・えの木保育園・みはる
保育園・みよし保育園の園児たちが遊戯を披露。「みん
なで守ろう交通ルール」と、大きな声で交通安全を呼び
かけました。

大会では、深浦小学校児童代表の吉田圭希さん(6
年)が「交通事故に遭わないようにするため、いつも声
をかけあい、みんなで注意し、気を付けます」と交通安
全を宣言。その後、鯉ヶ沢地区保護司会の安田悠宏会長
の代理で八木橋健さんが内閣総理大臣からのメッセージ
を読み上げました。

吉田町長が交通事故防止を宣言し、参加者全員で安心
安全な地域づくりについて意識を高めました。

スローガン

交通安全運動

「あなたも参加

わたしもやります“交通安全”」

青少年非行防止運動

「育てよう 未来を見つめる かがやく瞳」

社会を明るくする運動

「犯罪や非行を防止し、
立ち直りを支える地域のチカラ」



パフォーマンスを披露するカラーガード隊